

2026年3月期 決算説明資料

2026年5月

JANOME

株式会社ジャノメ

証券コード:6445

目次

- 1.2026年3月期決算概要P.3
- 2.中期経営計画「Move! 2027」の進捗P.11
- 3.2027年3月期業績予想P.16



1.2026年3月期決算概要

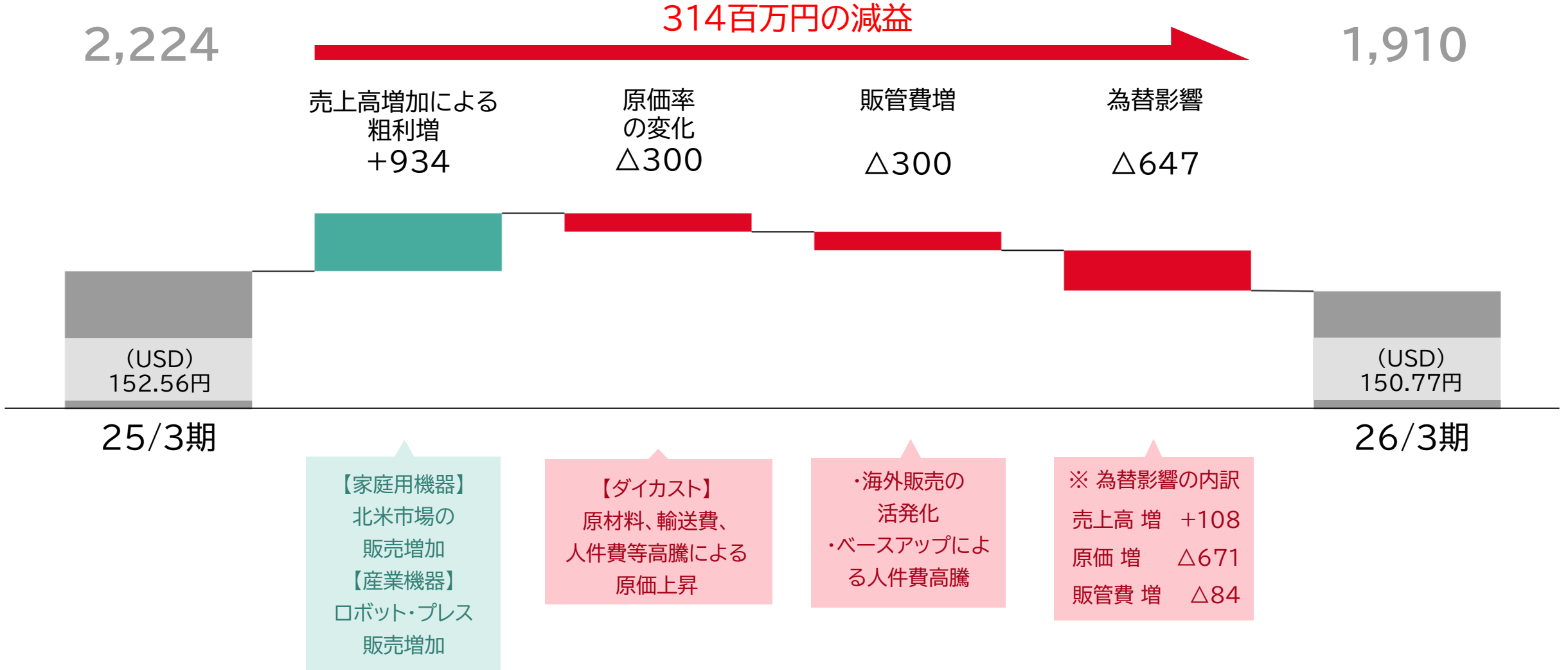


(1) 連結業績の概要

(百万円)	(A)25/3期	(B)26/3期	(B)-(A) 増減	(増減率)	ご参考	
					(C)11月時点 修正予想	(B)-(C) 増減
売上高	36,340	38,968	2,627	(7.2%)	35,000	3,968
売上総利益	15,040	15,110	70	(0.5%)	—	—
売上総利益率	41.4%	38.8%	2.6P減	—	—	—
営業利益	2,224	1,910	△314	(△14.1%)	1,300	610
営業利益率	6.1%	4.9%	1.2P減	—	—	—
経常利益	2,261	2,097	△163	(△7.2%)	1,200	897
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,794	590	△1,204	(△67.1%)	200	390
為替レート(対USD)	152.56円	150.77円	△1.79円	(△1.2%)	—	—

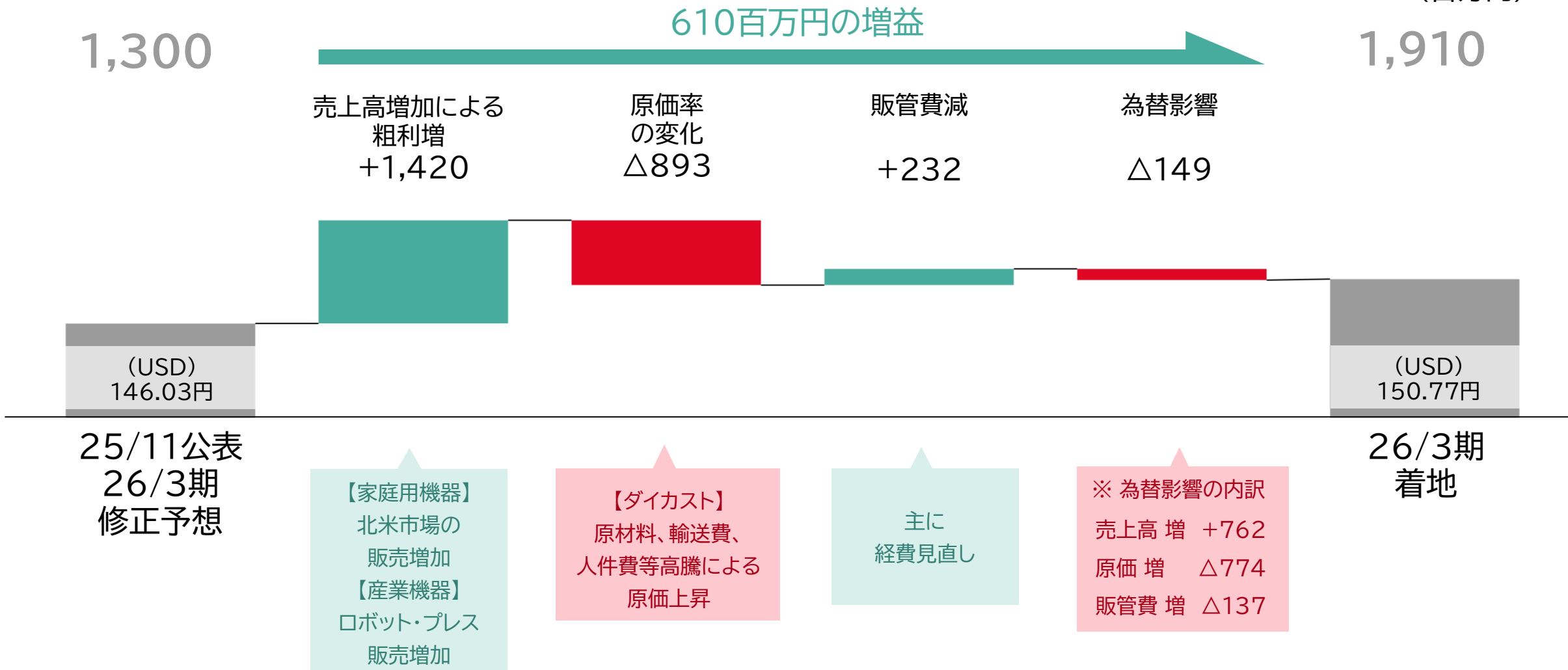
(2) 通期営業利益の増減要因

(百万円)







(3) 業績修正予想数値(11月公表)からの営業利益の増加要因

(百万円)

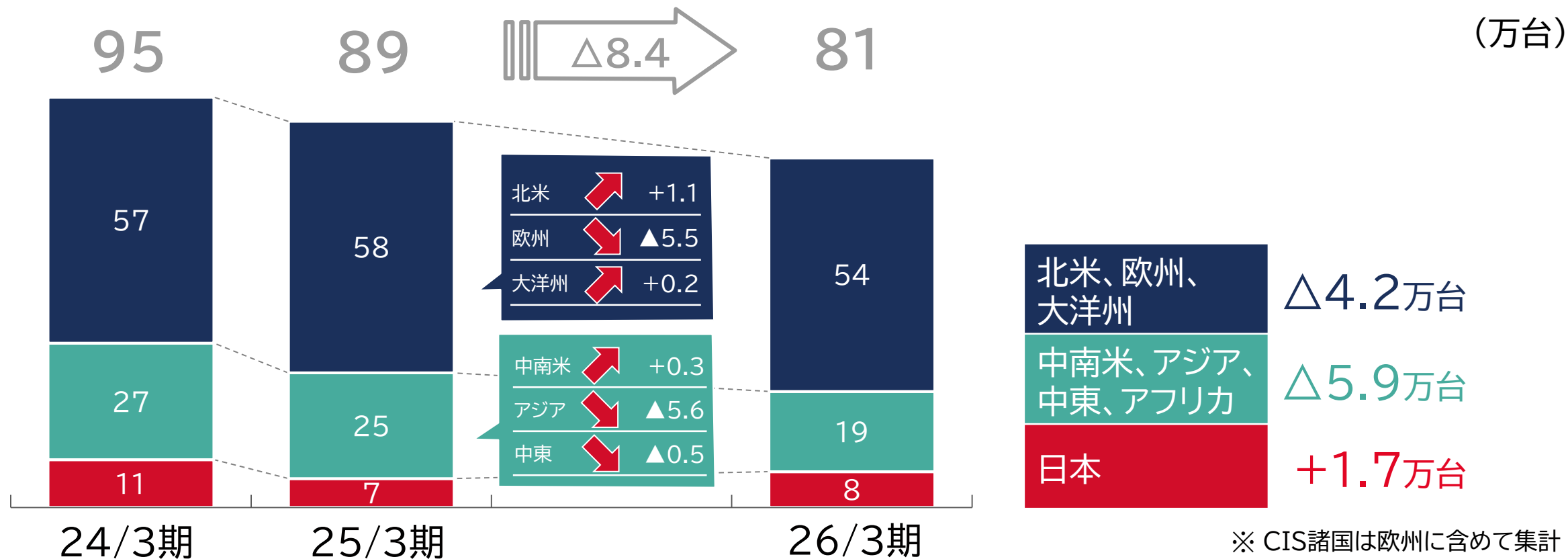


(4) 事業セグメント別業績

(百万円)		25/3期	26/3期	増減
 家庭用機器	売上高	28,773 (79.2%)	29,787 (76.4%)	1,013 2.7P減
	営業利益	2,159	1,854	△304
 産業機器	売上高	4,841 (13.3%)	6,155 (15.8%)	1,314 2.5P増
	営業利益	△423	△543	△120
 IT関連	売上高	2,529 (7.0%)	2,896 (7.4%)	366 0.5P増
	営業利益	401	537	136
 その他	売上高	195 (0.5%)	128 (0.3%)	△67 0.2P減
	営業利益	88	62	△25
合計	売上高	36,340	38,968	2,627
	営業利益	2,224	1,910	△314

※ ()内数字は構成比 ※ 営業利益合計数字にはセグメント間取引消去を反映

(5) ミシン地域別販売台数の状況



- 北米・大洋州を中心に、利益率の高い中高級機種の販売が好調に推移し、台数は限定的ながら収益拡大に貢献
- CIS・アジア地域では、低価格な中国製品の台頭により競争環境が厳化
- 国内は、25/3期は台数が一時的に減少したものの、足元では戦略機種投入により販売台数は回復基調へ転換

(6) 産業機器事業の内訳

(百万円)		25/3期	26/3期	増減
ロボット プレス	売上高	2,758	3,762	1,004
	営業利益	△85	88	174
ダイカスト	売上高	2,082	2,392	309
	営業利益	△337	△632	△294
計	売上高	4,841	6,155	1,314
	営業利益	△423	△543	△120

【ロボット・プレス】

- ・卓上ロボットは中国等の需要も取り込み堅調な受注を確保、またプレスはインド・韓国で自動車向けが拡大
- ・装置の汎用化に向けたトライアルを推進

【ダイカスト】

- ・受注は改善基調を維持する一方、原価率の高止まりや物流コスト等の影響が大きく黒字確保できず
- ・価格見直し、原価改善に向けた改革に着手し、早期実現に注力

(7) 個別業績の概要

(百万円)	25/3期	26/3期	増減	(増減率)
売上高	24,237	23,920	△316	(△1.3%)
売上総利益	7,007	6,152	△855	(△12.2%)
売上総利益率	28.9%	25.7%	3.2P減	—
営業利益	1,019	204	△814	(△80.0%)
営業利益率	4.2%	0.9%	3.3P減	—
経常利益	1,591	878	△713	(△44.8%)
当期純利益	1,409	329	△1,080	(△76.7%)

2.中期経営計画 「Move! 2027」の進捗 (2026年3月期)

The logo for 'Move! 2027' is positioned in the bottom right corner. It features the word 'Move!' in a large, bold, italicized black font. Below it, the year '2027' is written in a smaller, bold, italicized red font. To the left of the year, there are three vertical red bars of varying heights, resembling a stylized bar chart or a graphic element.

家庭用機器事業

ブランドアイデンティティの確立・強化
新製品投入によるシェア拡大

主な取り組み・成果

- ・マーケティング注力によるブランド価値向上(先進国)
- ・非価格競争での優位性確保によるシェア維持(新興国)
- ・市場ニーズに即した製品提供による販売拡大(国内)

今後の主な課題・取り組み

- ・マシンラインアップの最適化
- ・市場ニーズへの即応体制の構築
- ・「ジャノメ」ブランドアイデンティティの確立・強化

産業機器事業

重要市場への注力
高付加価値製品の販売強化による売上・収益性の強化

主な取り組み・成果

- ・ニーズ把握を通じたロボット・プレスを受注拡大
- ・重要市場インドの現法増資により拠点を拡大
- ・ダイカスト事業の構造改革の実行

今後の主な課題・取り組み

- ・ユーザーニーズの多面的収集と即応体制の強化
- ・「装置化製品」の安定受注に向けた生産体制構築
- ・ダイカスト事業の黒字化への構造改革の継続

IT事業

他事業の価値向上に向けた連携強化及び
既存事業の収益性維持

主な取り組み・成果

- ・新規案件創出に向けた営業基盤の強化
- ・提供領域の拡張による付加価値向上
- ・技術対応力の強化と事業基盤の強化

今後の主な課題・取り組み

- ・収益性の改善と案件採算の適正化
- ・内製化の推進による競争力強化
- ・新規開拓の強化と安定的な開発体制の確立

生産・開発

取り組みを継続しつつ、成長戦略に合わせて
生産の効率化・拡大を図る

主な取り組み・成果

- ・競争力強化に向けた生産体制再構築の検討を開始
- ・原価管理高度化に向けた基幹システムを順次刷新
- ・適時・適切な製品投入に向けた開発体制を推進

今後の主な課題・取り組み

- ・生産体制の再構築を具現化
- ・効率化・内製化等による原価低減を着実に実現
- ・開発スピード向上による競争力ある開発体制へ高度化

人事戦略

人事戦略の遂行により、働きがいの向上と
事業推進力の強化の好循環を構築

主な取り組み・成果

- ・評価・報酬体系の見直し等の人事制度改革を検討
- ・人事システムのグループ統一化への取り組みを実行
- ・社員の働きがい向上に向け、手当・福利厚生等を見直し

今後の主な課題・取り組み

- ・働きがい向上と事業推進力の強化に資する
新人事制度の施行と定着化
- ・人事システム統一による運用効率向上

財務戦略

創出したキャッシュの戦略的アロケーションにより
持続可能な成長を実現

主な取り組み・成果

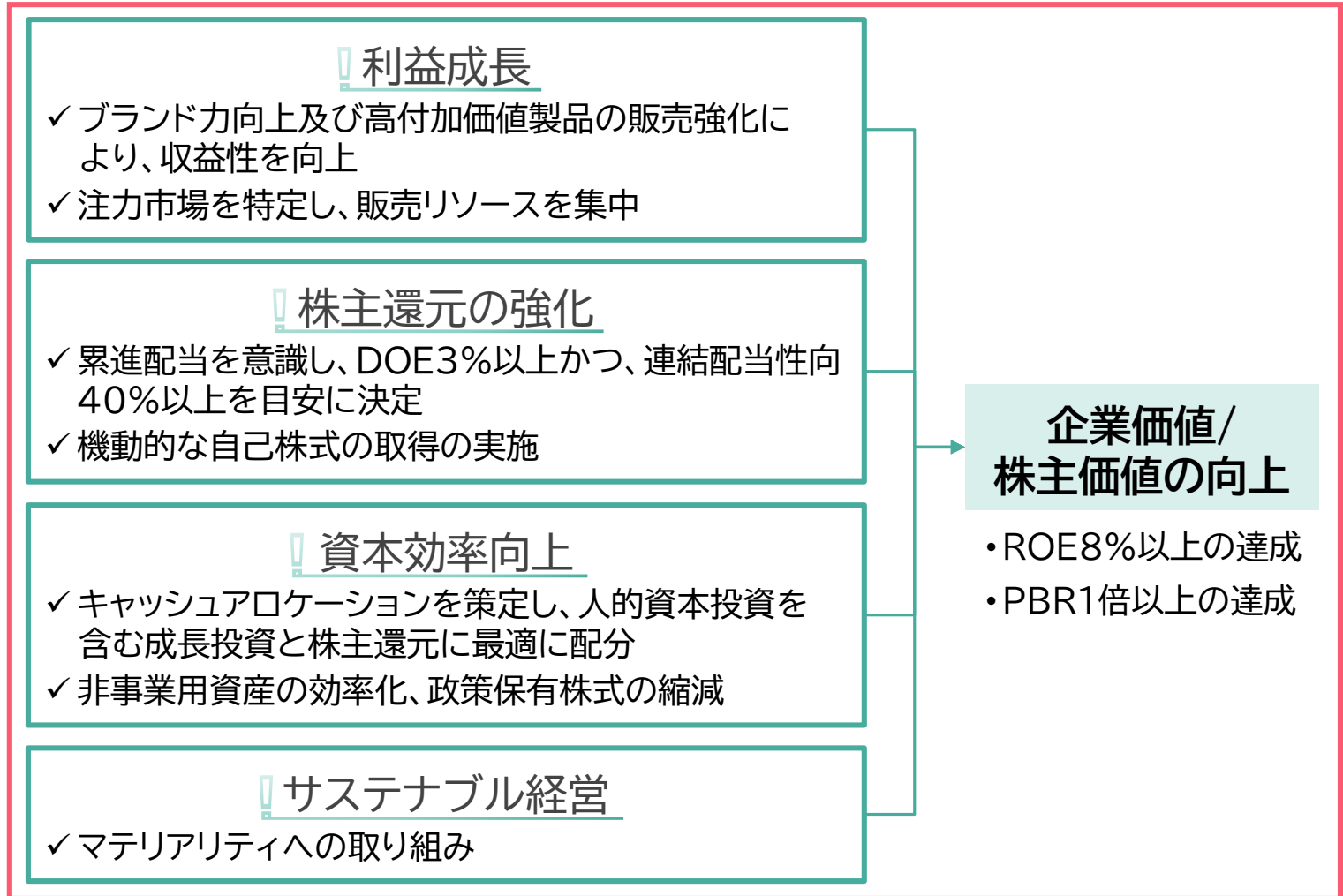
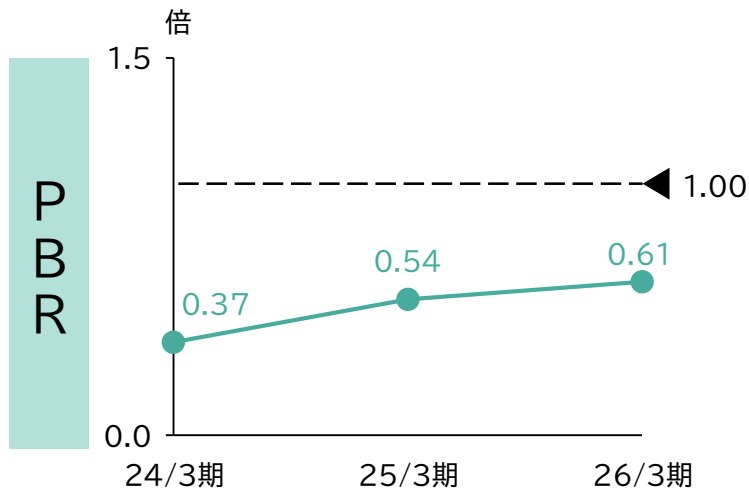
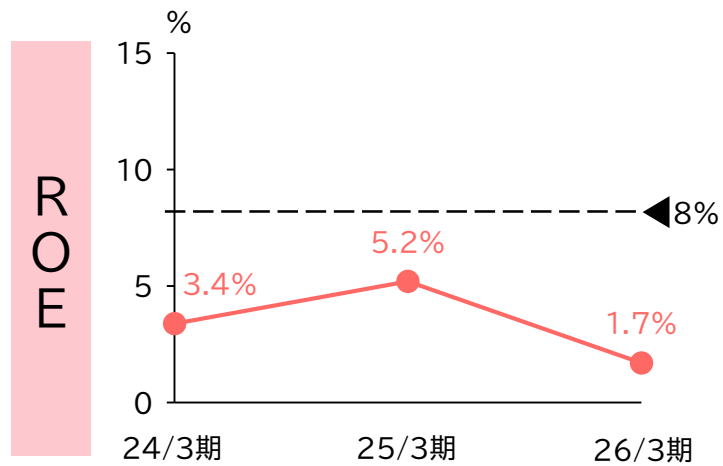
- ・非事業用資産の売却等により資本効率を改善
- ・自己株式取得・配当増額等、株主還元を強化
- ・事業基盤強化に向け重要市場投資や新領域進出を検討

今後の主な課題・取り組み

- ・PBR1倍以上の実現に向けた資本効率の向上
- ・持続的成長に向けた成長投資と株主還元の最適化

(4) 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

『PBR1倍以上、ROE8%以上』の目標に達成に向け中期経営計画「Move! 2027」の施策を推進



3.2027年3月期業績予想



(1) 2027年3月期の連結業績予想

(百万円)	26/3期 実績	27/3期 予想	増減
売上高	38,968	42,000	3,032
営業利益	1,910	3,000	1,090
経常利益	2,097	3,000	903
親会社株主に帰属する 当期純利益	590	2,000	1,410

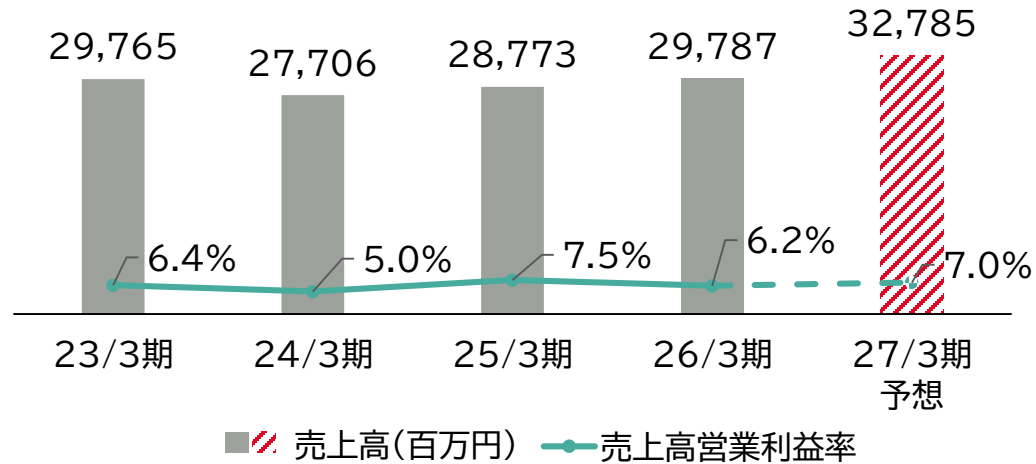
(2) 事業セグメント別業績予想

(百万円)		26/3期	27/3期予想	増減
	家庭用機器	売上高 29,787 (76.4%)	32,700 (77.8%)	2,913 1.4P増
		営業利益 1,854	2,290	436
	産業機器	売上高 6,155 (15.8%)	6,200 (14.7%)	45 1.1P減
		営業利益 △543	240	783
	IT関連	売上高 2,896 (7.4%)	3,070 (7.3%)	174 0.1P減
		営業利益 537	460	△77
	その他	売上高 128 (0.3%)	30 (0.1%)	△98 0.2P減
		営業利益 62	10	△52
合計	売上高	38,968	42,000	3,032
	営業利益	1,910	3,000	1,090

※ ()内数字は構成比 ※ 営業利益合計数字にはセグメント間取引消去を反映

(3) 2027年3月期重点戦略 —家庭用機器事業—

売上高・売上高営業利益率



販売台数・シェア*		26/3期推計	27/3期予想	増減
北米、 欧州、 大洋州	当社販売台数 (万台)	54	60	+6
	シェア	16.0%	17.8%	1.8P増
中南米、 アジア、中東、 アフリカ	当社販売台数 (万台)	19	34	+15
	シェア	7.6%	13.2%	5.6P増
日本	当社販売台数 (万台)	8	8	±0
	シェア	28.5%	28.5%	0.0P増

【共通】

・中期経営計画「Move! 2027」の基本方針である、当社の強みである品質を基軸としたブランドアイデンティティを確立・強化し、「選ばれる理由」を明確化することで競争優位性を確保

【海外】

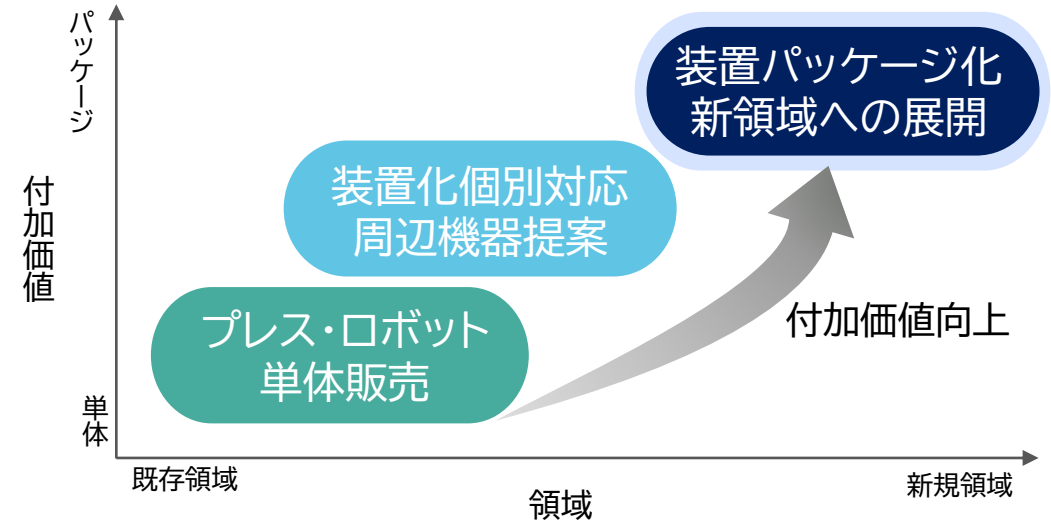
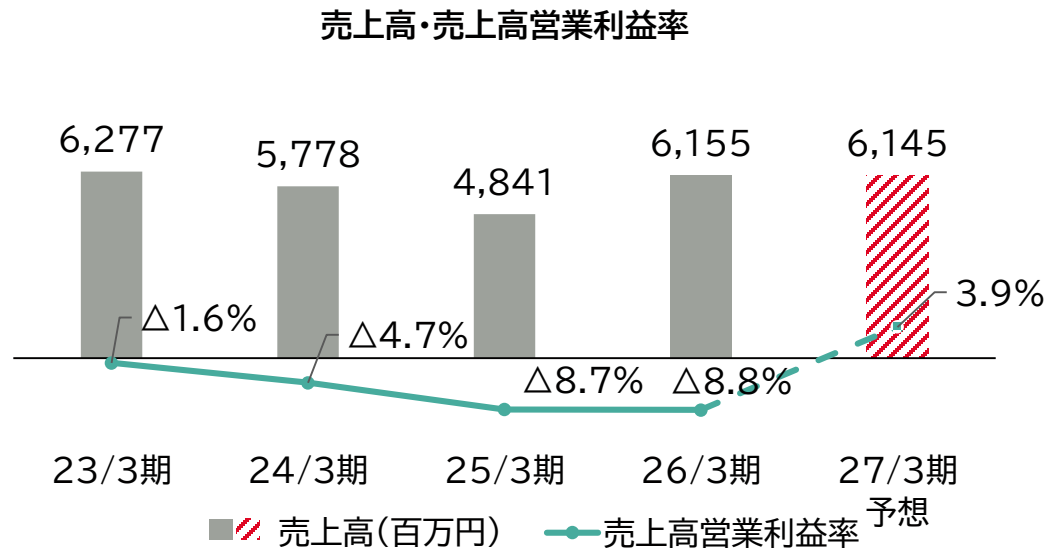
- ・先進国: 中高級機種で数量×利益の両立に向け、市場ニーズに応じた新機種・既存製品の投入、代理店等のサポート体制を強化
- ・新興国: 市場動向を見極めつつ、非価格競争における「選ばれる理由」の強化と優位性確保に向けた新機種投入や販促体制を強化

【国内】

・市場ニーズを踏まえた製品の最適化による販売拡大、体験機会や情報発信強化を通じたユーザー拡大

*当社調べ(推計値)。市場規模は家庭用ミシンの年間販売台数、シェアは複数地域合算の平均値。26/3期シェア、27/3期シェアは市場規模が25/3期と同等と仮定して算出。

(4) 2027年3月期重点戦略 —産業機器事業—



【ロボット・プレス】

- ・医療・航空機、電池、半導体等の新分野への製品提供に向けたアプローチを推進
- ・エンドユーザー起点でのニーズ把握による課題解決型提案の営業を強化
- ・装置化製品の標準パッケージ化による設計・製造の効率化を進め、安定受注と顧客対応力の強化を両立する生産体制を整備

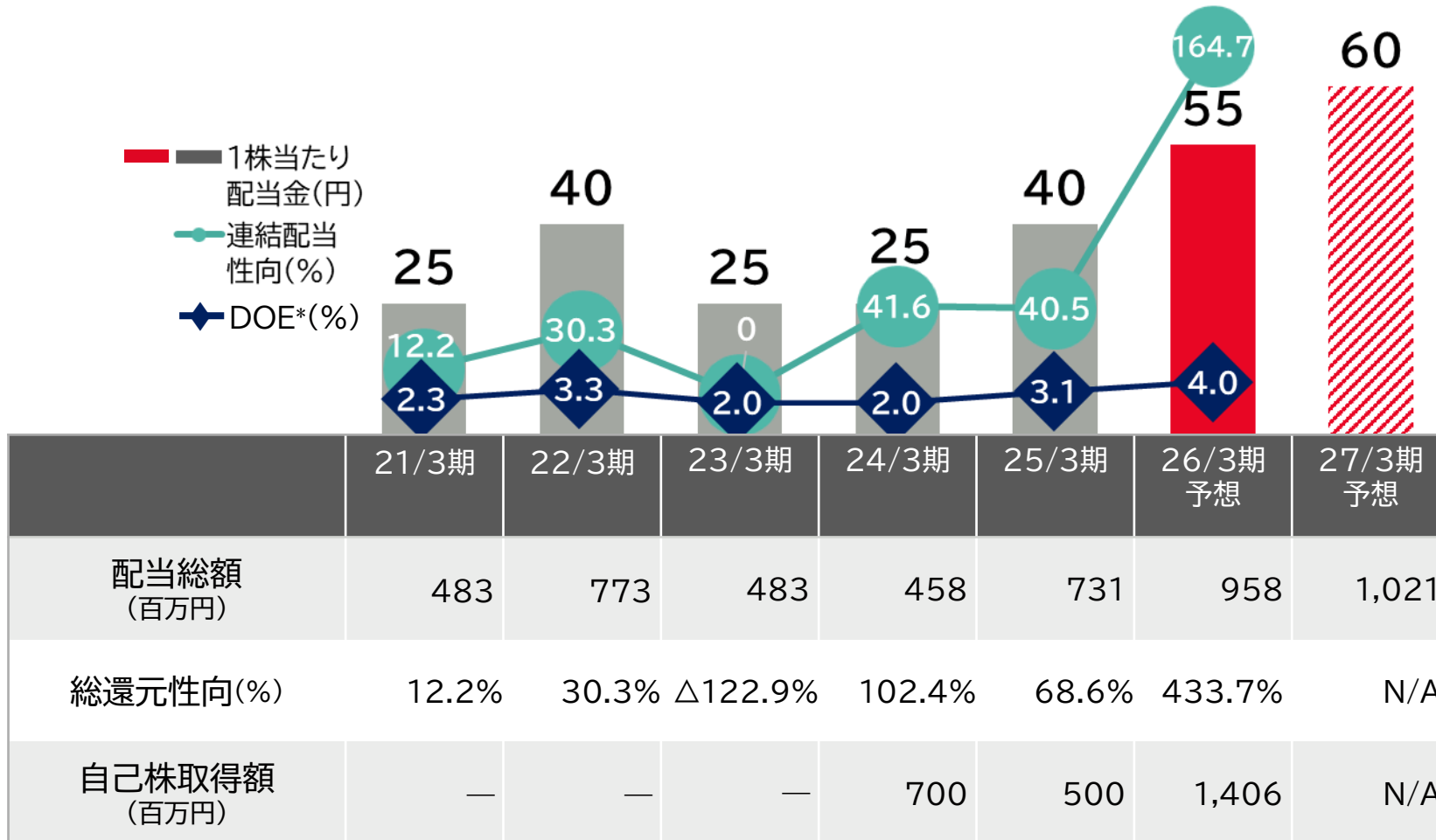
【ダイカスト】

- ・前期の受注増を土台に、今期での黒字化に向けて、価格見直しと原価低減に向けた取り組みの継続的な実行を徹底
- ・経営上の課題の早期解決へのガバナンス強化を継続

(5) 株主還元

2026年3月期の一株あたり年間配当金は**55**円を予定(年初通り)

2027年3月期の一株あたり年間配当金は前期比**5円増**の**60**円を予定



配当方針

- ✓健全な財務基盤と資本効率の向上を追求
- ✓長期的な安定配当と利益成長に応じた増配を検討
- ✓累進配当を意識し、DOE*3%以上・連結配当性向40%以上を目安

自己株式の取得

- ✓資本市場の動向を踏まえ、機動的な自己株式の取得を実施
- ✓2025年11月17日から2026年4月9日の間に約15億円の自己株式を取得済

*DOE = 配当金総額 ÷ 株主資本(期初期末平均値) × 100

本資料で記述されている計画・予測等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。

今後、市場や為替レートの変動などを含む様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

【お問合せ】

株式会社ジャノメ 企画本部IR推進室

✉ : ir-plan@gm.janome.co.jp

🌐 : <https://www.janome.co.jp/>

JANOME

株式会社ジャノメ